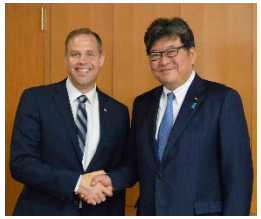
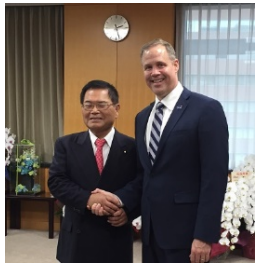
NASA長官の訪日と意見交換の概要について

資料2

米国航空宇宙局（NASA）のジム・ブライデンスタイン長官が来日し、９月２４日・２５日に日本政府関係者らと意見交換を行った。

（主な意見交換）
・菅義偉　　内閣官房長官（和泉洋人内閣総理大臣補佐官同席）
・竹本直一　　内閣府特命担当大臣（宇宙政策）
・萩生田光一　文部科学大臣
・葛西敬之　　宇宙政策委員会委員長
　　（松井孝典委員長代理、中須賀真一基本政策部会長同席）
・山川宏　　宇宙航空研究開発機構（JAXA）理事長





（NASA側）

✔宇宙協力において日本は長らく米国の重要なパートナー。

✔こうのとり８号機（HTV-8）の打上げ成功をお祝いする。こうのとり、ＨⅡ-Bロケット、「きぼう」日本実験棟等、国際宇宙ステーション（ISS）における日本のこれまでのコミットメントに感謝するとともに、これらの成果をもとに今後の宇宙探査においても日本の技術の貢献を期待。

✔アルテミス計画において、ゲートウェイは、月探査、月面探査を持続可能な形とするとともに火星を目指す拠点となるものであり、日本の参画を強く要望する。

（日本側）

✔引き続き、宇宙分野における米国の強いリーダーシップとともに、日米協力の一層の深化を期待。

✔ゲートウェイを含む月探査計画への日本の協力については、ISSで培ってきた技術など日本の強みを活かして貢献できるよう、早期に決定すべく検討を加速する。